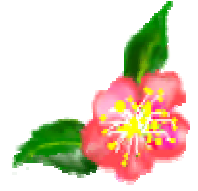


船橋 YMCA 通信



No.23 2005年3月1日

編集 千葉YMCA船橋地域デポ運営委員会 発行人 榎 一光
〒273-0825 船橋市夏見6-6-6 日本基督教団船橋教会内
電話：(047)425-6366 F A X：(04)7145-3403



サタデースクールを開校します

船橋YMCAとして、昨年から準備を進めてきた子育て支援プログラムのサタデースクールが、2005年5月に開校します。

サタデースクールは学校5日制に伴い、土曜日を子どもたちに有意義に過ごしてもらうための、小学生対象のクラスです。

開催日は、毎週土曜日の通年コースでゴールデンウィーク、お盆、年末年始、年度末、祝日の土曜日はお休みです。時間は午前9時から午後5時までですが、別料金にて時間延長も可能です。

場所は、船橋YMCAがある日本基督教団船橋教会内の教会学校校舎とシオン幼稚園のホールです。

チャリティーラン開催日決定！

今年の千葉YMCAチャリティーランの開催日は、10月15日(土)に決まりました。



《この写真は一昨年のチャリティーランです。》

昨年は台風の直撃に会い競技ができませんでしたので今年こそはと準備を開始しました。

八栄小で車椅子体験教室

2月9日(水)に船橋市立八栄小学校(船橋市夏見5-27-1)で、4年生の児童160人を対象に車椅子体験教室が開かれました。



この体験教室は、小学校の総合学習のひとつの取り組みとして開かれたもので、車椅子の指導には千葉YMCAチャリティーランに車椅子で参加している船橋市障害者友の会(会長：松本智治氏)の皆さんをはじめとするボランティアの方々19名が参加されました。



船橋YMCAはこの体験教室の事務局として、プログラムの内容の検討や八栄小学校、車椅子を

お借りした船橋市社会福祉協議会および船橋市障害者友の会の間の連絡を担当しました。

車椅子体験教室のきっかけは、昨年のチャリティーランで小学生に車椅子で参加してもらおうとして、チャリティーランの事前に船橋市障害者友の会の皆さんに実技指導をしていただいたことでした。その後、八栄小学校の先生方と話し合いを続け実現に至ったものです。



子どもたちは普段車椅子で生活している方々から指導を受け、跳び箱の踏み切り板の段差を越えることにチャレンジしました。障害を持った方々と子どもたちが直接ふれあい、会話をするたいへん良い機会でした。

車椅子体験教室は、船橋市内のいくつかの小学校にも開催の声をかけており、今後広まることが期待できます。

車椅子体験教室の感想文

車いすに初めて乗った時には「車いすは、とてもめんどろな。」と思いました。でも自分で動かすと、大変つらかったです。特に、でこぼこしている道や雨の日、坂道はあぶなそうです。ぼくは、この体験を通して、車いすに乗っている人には、声をかけて手助けしてあげたいと思いました。

2月の“わんぱくクラブ”

2月のわんぱくクラブは千葉市にある生涯学習センターへ足を運び、クッキー作りをしました。生地をこねるところから型を抜き、焼くまで、子どもたちの手で協力しながら作りました。人型のクッキーや三日月型のクッキーなどそれぞれ好きな形のものを作りました。

クッキーをおいしそうに食べている子どもたちの顔が忘れられません。最後にはラッピングをして家族へのおいしいお土産も作りました。初めてお菓子を作る子どもたちが多かったようなので、この経験が生活の中で生かされたら幸いだと思います。 志岐 長美（でしリーダー）



船橋Y M C A活動記録

船橋Y M C Aの1月、2月の活動記録です。

- ・ 1月8日（土）そらまめクラブ「あおぞら」
作品：くるくるまわるおもしろいコマをつくらう
参加者：6名、リーダーOG2名参加
- ・ 1月16日（日）わんぱくクラブ1月例会
場所：国立科学博物館
内容：社会見学
参加人数：16名
- ・ 1月24日（月）船橋地域デポ運営委員会
- ・ 2月5日（土）チャリティーラン実行委員会
- ・ 2月12日（土）そらまめクラブ「あおぞら」
作品：紙ねんどを使って花びんやペン立てをつくらう
参加者：4名、リーダーOG2名参加
- ・ 2月20日（日）わんぱくクラブ2月例会
場所：千葉市生涯学習センター
内容：クッキー作り
参加人数：18名
- ・ 2月21日（月）チャリティーラン事務局会議

編集後記

車椅子体験教室は、Y M C Aが行政と障害者団体との仲立ちをすることができ、チャリティーランに続く地域に根ざした活動になりました。さらにサタデースクールで地域密着度をあげたいと思っています。 (槇)